



新入生の皆さん、在校生の皆さん、ご入学・進級おめでとうございます。

本校では、生徒のはたらく力と生活力の向上を目指し、地域社会や関係機関との『つなかり』を大切にした進路指導を心掛けています。生徒の思いや願いを将来につなげていくために、地域で生活することをイメージしながら進路選択の一助となるよう情報を発信していこうと思います。

進路に関するご意見やご質問などは、下記教員にお気軽にお問い合わせください。

進路指導担当：鈴木理史 すずき ただし 土屋日早子 つちや ひさこ (1年) 内田敦美 うちだ あつみ (2年) 橋本 悟 はしもと さとる (3年)

これまで進路に関することは「進路指導課」として対応してきましたが、今年度からは「キャリア支援課」と名称を変えて取り組んでいきます。就労先を探すだけでなく、その後の豊かな生活につなげる土台を築いていきたいと考えています。

面談や職場実習を通して、将来こんな生活をしてほしい、こんな姿になってほしい、こんなことができるようになってほしい、そのためになにができるのかなど、生徒、保護者の皆様と一緒に考え、よりよい生活につなげていきたいと思っています。

※タイトルの『つなかり』は、多くの人との出会いを大切にして、仲間や相談できる人をたくさん作ってほしい、という思いを込めています。

令和7年度 卒業生の進路状況

■企業就職 株式会社しゃぼん玉

■福祉就労（福祉サービス利用）

○就労移行支援 ワークセンターやまもも

○就労継続支援B型 熱海ふれあい作業所
アイグループ

○生活介護 ひだまり 碧の園 こもれび

○自立訓練 ライフステーションえんと あまぎ学園



【今年度の職場実習予定】 ※進路に関する年間行事の詳細はPTA総会でお伝えします。

- 職場実習 3年生…前期 6月15日（月）～26日（金） 10日間
後期 9月30日（水）～10月14日（水） 10日間
- 2年生…前期 6月25日（木）～7月8日（水） 10日間
後期 10月26日（月）～11月9日（月） 10日間
- 1年生（短期実習）2月1日（月）～12日（金）の間で2～4日間
実習前後に壮行会と報告会を行い、実習終了後には面談を予定しています。

卒業後の福祉サービスについて

高等部卒業後の進路を考える際、よく耳にする「福祉サービス」。それぞれの違いをまとめてみました。生徒の特性や「将来どんな生活を送りたいか」に合わせて検討する材料になれば幸いです。

働く・一般就労へ

学ぶ・整える

生活・活動の充実

1. 就労移行支援（「働く」ための準備期間）

- ・対象：一般企業への就労を希望する人。
- ・内容：事業所に通いながら、仕事に必要なスキルやマナーを身につける。
- ・ポイント：利用期間は原則2年間。実習や就職活動のサポートを受けながら、自分に合った職場探しを行う。

2. 就労継続支援 A 型（「働く」＋「雇用契約」）

- ・対象：すぐに一般企業での勤務は難しいが、雇用契約を結んで働ける人。
- ・内容：福祉作業所などと雇用契約を結び、最低賃金以上の給料をもらいながら働く。
- ・ポイント：労働者としての権利が守られる反面、決められた勤務時間は継続して働くことやルールを守るなどが求められる。

3. 就労継続支援 B 型（「働く」＋「居場所」）

- ・対象：自分のペースで働きたい人、A 型での勤務が難しい人。
- ・内容：雇用契約は結ばず、「工賃」を受け取りながら、働く姿勢や意欲を育む。
- ・ポイント：短時間利用や体調に合わせた通所など、柔軟な働き方が可能。やりがいや地域社会とのつながりを大切にする場でもある。

4. 自立訓練（生活訓練）（「自立」のための練習）

- ・対象：生活能力を向上させ、自立した生活を目指したい人。
- ・内容：調理・掃除・金銭管理・コミュニケーションなど、日常生活に必要なスキルのトレーニングを行う。利用期間は2年。
- ・ポイント：「いきなり働くのは自信がない」「まずは身の回りのことを自分でできるようにしたい」というステップをふみたい人に適している。

5. 生活介護（「活動」＋「ケア」）

- ・対象：自立している部分を大切にしながら、必要に応じて適切な手助けがある環境で日中活動の場を求める人。
- ・内容：身の回りのこと（身辺自立）の維持・向上を支えつつ、その人の『好き』や『得意』を広げる活動に取り組む。また、心身のリフレッシュや健康維持を目的とした活動も行う。
- ・ポイント：安心・安全な環境の中で、日中の充実した過ごし方を支えるサービス。

【保護者の皆様へ】

これらのサービスは、生徒の現状だけでなく、「数年後にどうなっていたいか」という視点で考えることも大切です。

「うちの子にはどこが合っているの?」「実際の雰囲気は?」など、少しでも疑問があれば、いつでも進路指導担当までご相談ください。学校、ご家庭、そして地域が連携して、生徒の新しい一歩を支えていきましょう。